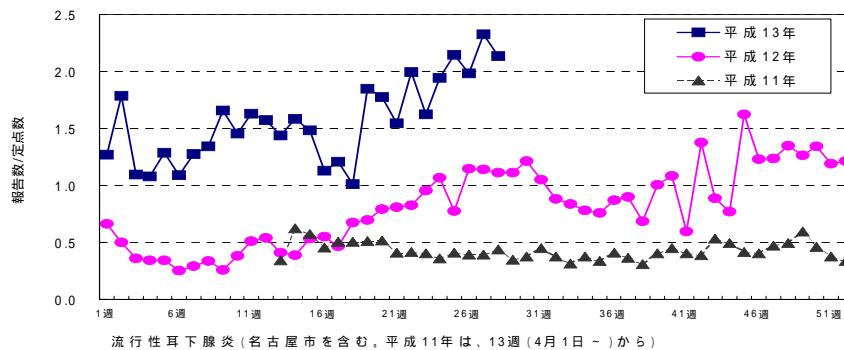
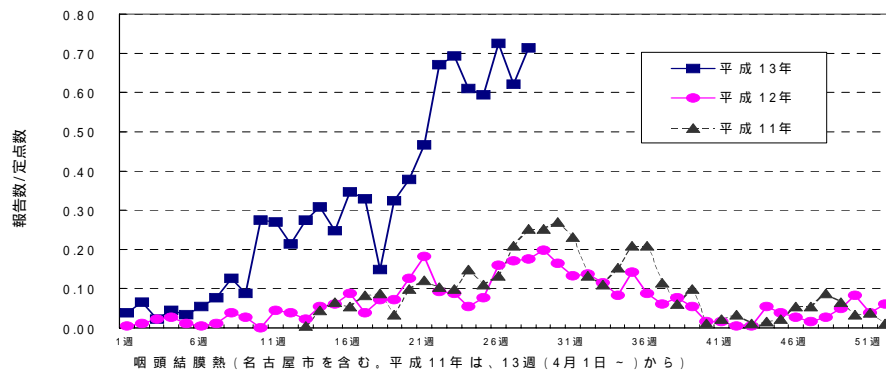


愛知県感染症情報

平成 13 年第 28 週（7 月第 2 週）

（コメント）

ヘルパンギーナはピークをむかえています。手足口病は流行中で、これからピークをむかえるので十分注意してください。伝染性紅斑、咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎は、昨年より多い状況で流行中です。



（定点の先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ 手足口病、ヘルパンギーナが多いです。それ以外にも高熱の患者さんが目だちました。

（一宮市 あさのこどもクリニック）

- ・ 手足口病流行中

（一宮市 後藤小児科）

- ・ 病原性大腸菌（O27 39歳女、O125 39歳女、O112 10歳男）
成人重症感染麻疹1名 27歳女（予防接種未接種）

（尾西市 城後小児科）

- ・ O25 2人、サルモネラ 1人

（犬山市 武内医院）

- ・ ヘルパンギーナ多発（2回の発熱）。咽頭結膜熱多し。アデノ9名（7歳以下）。プール熱以外のアデノ感染症も多し。その他、顔、胸部、上下肢に点状の紅斑の疾患あり（風疹ではありません）。
（岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック）
- ・ 手足口病、ヘルパンギーナ等の夏かぜが流行中です。咽頭結膜熱は、少なくなりました。麻疹（1歳男）1名は予防接種未接種。
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
- ・ 水痘、手足口病、ヘルパンギーナいずれも小流行
（新川町 三輪医院）
- ・ マイコプラズマ肺炎（19歳女、1歳女）
（春日町 丹羽医院）
- 尾張東部地区
 - ・ 相変わらずアデノウイルス感染症が多くみられます。溶連菌感染症、流行性耳下腺炎も多く、ヘルパンギーナは流行中です。
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
 - ・ ヘルパンギーナ流行続いています。咽頭結膜熱等アデノウイルス感染症も目立ちます。流行性耳下腺炎もまだ小流行あるようです。マイコプラズマ感染症、幼児・学童で少し目立ちます。
（尾張旭市 佐伯小児科医院）
 - ・ 耳下腺炎流行中
（南知多町 医療法人大岩医院）
 - ・ 出血性腸炎 サルモネラ *sp.* 09 群 1例（ペットの犬と食器共用していた）。ヘルパンギーナや手足口病の流行つづいています。
（春日井市 朝宮こどもクリニック）
 - ・ 今週もヘルパンギーナの流行が続いています。
（春日井市 かちがわ北病院）
 - ・ ヘルパンギーナ多い。ムンプスの髄膜炎数名あり。
（小牧市 小牧市民病院）
 - ・ マイコプラズマ肺炎およびパラインフルエンザ3型による肺炎もかなりみられます。
（小牧市 志水こどもクリニック）
 - ・ （水痘、おたふく）男3歳ですが予防注射済みの子です。
（小牧市 鈴木小児科）

● 西三河地区

- ・ アデノウイルス感染症（チェック Ad 陽性） 4 歳男
エルシニア腸炎 1 歳男
（豊田市 星ヶ丘田中こどもクリニック）
 - ・ 5 歳男 1 ヶ月前後に 2 回伝染性紅斑に罹患。咽頭結膜熱多い。
麻疹 10 歳男（ワクチン未接種）
（豊田市 やふそ小児科）
 - ・ 病原性大腸菌 O18 4 歳男、サルモネラ O9 3 歳女
（岡崎市 花田こどもクリニック）
 - ・ サルモネラ O9 2 歳女
（岡崎市 にいのみ小児科）
 - ・ サルモネラ O9 と病原性大腸菌 O25
（岡崎市 水野医院）
 - ・ カンピロバクター（3 歳、7 歳）、病原性大腸菌 O6 4 歳
（幸田町 とみた小児科）
 - ・ ヘルパンギーナ引き続き見られます。
（碧南市 永井小児クリニック）
 - ・ ヘルパンギーナが増えてきました。
（刈谷市 まついこどもクリニック）
 - ・ ヘルペス歯肉口内炎 11 歳女。ヘルパンギーナ多い。伝染性膿痂疹
多い。
（知立市 宮谷こどもクリニック）
 - ・ 咽頭結膜熱 3 例はチェック Ad 陽性。ヘルパンギーナが増加。
（西尾市 やすい小児科）
 - ・ 今週もヘルパンギーナが目立ちました。頭痛と嘔気を伴う夏風邪
も流行。
（西尾市 山岸クリニック）
 - ・ まだ麻疹が時々あります。
（蒲郡市 蒲郡市民病院）
 - ・ カンピロバクター胃腸炎 1 名。サルモネラ胃腸炎 1 名。
（豊川市 ささき小児科）
 - ・ ムンプス性髄膜炎 1 歳男
（小坂井町 医療法人宝美会 総合青山病院）
- 東三河地区
- ・ サルモネラ O9 6 歳男
（豊橋市 こどもの国大谷小児科）

(1 ~ 3 類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者 2 名

- ・ 田原保健所から報告の 16 歳女。7/7 発病、7/8 初診、7/11 診定。菌型は、0157 VT1・2(+)。
- ・ 刈谷保健所から報告の 2 歳女。7/4 発病、7/5 初診、7/9 診定。菌型は、0157。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

発生はありません。

第 26 週 (6 月 25 日 ~ 7 月 1 日) の 4 類感染症の全国状況

麻疹は過去 5 年間の同時期と比較して定点当たり報告数がかなり多い。流行性耳下腺炎は、最近 10 年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が続いており、都道府県別では福井県 6.1、石川県 3.8、新潟県、佐賀県、福岡県各 3.7 などの報告がある。咽頭結膜熱は、最近 10 年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が 2000 年第 41 週から続いており、夏の本格的なシーズンに向けて増加中である。都道府県別では滋賀県 1.3、京都府 0.9、埼玉県、青森県各 0.8 などの報告がある。伝染性紅斑の定点当たり報告数は過去 5 年間の同時期と比較してかなり多くなっており、埼玉県 2.9、福井県、山梨県各 2.2 などの報告がある。流行性角結膜炎の定点当たり報告数はやや多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)

2001 年 6 月 1 日号 (76 巻 22 号)

急性脳炎。バングラデシュ：厚生省の発表では 4 月 26 日 - 5 月 12 日で同国インド国境地帯で成人男性 28 例 (死亡 9 例) の急性脳炎集団発生あり。調査中。

髄膜炎菌髄膜炎。エチオピア：現在までに 5,636 例 (392 例死亡) 報告。発生は減少傾向にあるが同国ほぼ全域。国境なき医師団と国際赤十字による予防活動が展開中。37 万人分のワクチンが赤十字により準備されている。

地球規模の健康維持活動：最近の状況を踏まえた長文の総説。保健活動の方法論や問題点について WHO の提言。ただし最近の具体的な数字は示されていない。

ポリオ。西～中央アフリカ：前号 76 巻 1 号の追加資料。国境地帯を主体とした活動の紹介 (地図あり)。

インフルエンザ：01 年 5 月。チリ：A (H3N2)。モ - リシャス：B 型。アルゼンチン、フランス、香港、ラトビア、ノルウェ - ：いずれも A 型と B 型。

コレラワクチン緊急接種対象地区について：難民や都市スラム街における調査の結果、集団発生が予測される地区では発生後 6 ヶ月間、ワクチン接種が推奨される。

01 年 5 月 25 - 31 日届出。コレラ：ブルンジ、ガ - ナ、リベリア、ソマリア、スワジランド、ザンビア、ジンバブエ、香港。

2001 年 6 月 8 日号 (76 巻 23 号)

黄熱。象牙海岸：同国厚生省は西南部 2 地区で 4 例 (死亡 3 例) の発生を報告。パスツ - ル研究所の血清診断で確定。現在までに続発例の報告はない。当局は疫学調査の実施とワクチン接種の計画中。

ハンセン病 (WHO 報告は「レプラ」ですが本邦の報道の状況からハンセン病としました)。世界の状況：早期発見の普及と多剤併用の有効性から激減している。本報は本年初頭の登録数 100 例以上の国の一覧表。目立つのはインド (登録数 42 万、新規報告者 47 万：？何回みても桁数はこのとうりです)、ブラジル (登録数 6 万、新規報告数 4 万 3 千)、インドネシア (登録数 1 万 8 千、新規報告数 1 万 4 千)、ミャンマ - (登録数 1 万 1 千、新規報告数 1 万)、ネパ - ル (登録数 8 千、新規報告数 7 千)、中国 (登録数 6 千、新規報告数 1 千 6 百)。

インフルエンザ (01 年 5 月)：モ - リシャス。B 型。

01 年 6 月 1 - 7 日届出。コレラ：マヨット。

平成13年7月19日

愛知県感染症情報

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

本格的な梅雨らしい雨が降らないまま1学期が終わってしまいました。夏休みとなり、子供達で駅が混雑する日が続きそうですが今年のお天気はどうでしょうか。所で、いつも貴重な情報を有難うございます。7月前半のまとめをお送りします。

1. 名古屋市内：市内各地区でヘルパンギ-ナ、手足口病、発熱と咽頭炎の感冒症候群が流行中で無菌性髄膜炎による入院例も目立っています。アデノウイルス感染症（咽頭結膜熱、流行性角膜炎、高熱のため入院を要する扁桃炎など）も多発中です（国立病院伊藤先生、第二日赤岩佐先生、千種区今枝先生、三菱病院岩間先生、労災病院山田先生、大同病院水野先生）。ムンプス、伝染性紅斑、溶連菌感染症の発生も続いています（国立・伊藤先生、三菱・岩間先生、千種区今枝先生、労災・山田先生、大同・水野先生）、伝染性膿痂疹、とびひ、ブ菌性火傷様皮膚症候群などが目立つようになりました（千種区今枝先生、労災・山田先生、大同・水野先生）。マイコプラズマを含む肺炎・気管支炎（国立・伊藤先生、三菱・岩間先生、労災・山田先生、大同・水野先生）、EBウイルス感染症；扁桃炎、急性肝炎（国立・伊藤先生、労災・山田先生）、サルモネラ・カンピロバクタ-エルシネア腸炎（三菱・岩間先生、労災・山田先生）などのお手紙で、第二日赤岩佐先生と労災・山田先生、大同・水野先生からは麻疹流行中との情報です。暑い日が続いている昨今、麻疹患者は大変だろうと思います。水分を充分補給してください。

2. 尾張地区：犬山市武内先生からはムンプス多発中で手足口病、ヘルパンギ-ナ、突発疹が散発中、5歳ワクチン未接種児の麻疹、感染性胃腸炎（O-25が2例、サルモネラ1例）あり、江南市昭和病院西村先生からは手足口病と伝染性紅斑、伝染性膿痂疹が目立ち咽頭結膜熱の入院、クラミジア肺炎、アデノウイルスの扁桃炎の入院も多い、常滑市民病院上田先生からはヘルパンギ-ナ、ムンプス、伝染性紅斑、溶連菌感染症が散発、ムンプス髄膜炎、ヘルペス口内炎、重症水痘の入院例が目立ったとのお手紙でした。

3. 三河地区：豊田地区では麻疹がまだ流行中で入院例が目立っています。夏休みで帰省先の伝染源にならなければよいのですが。水痘、ムンプス（髄膜炎あり）、咽頭結膜熱、ヘルパンギ-ナ、インフルエンザ（中学生で発生あり、B型）流行中、岡崎市民病院系洲先生からは無菌性髄膜炎（乳児では5千～6千の髄液細胞増多）と肺炎が目立つ、刈谷市田和先生からは手足口病、ヘルパンギ-ナ、咽頭結膜熱、水痘が散発中、碧南市永井先生からは手足口病、ヘルパンギ-ナ時々あり伝染性紅斑散発中、豊橋市からはヘルパンギ-ナ、咽頭結膜熱、ムンプス、水痘、カンピロバクタ-腸炎が発生中で麻疹1例ありとのお手紙でした（市内長屋先生、宮澤先生）。有難うございました。